

1回目 6／9 自己紹介と地域活性化の目標共有

本交流会の趣旨説明・地域活性化についての概論をお話し、参加者に1人ずつ自己紹介と地域活性化への思いを話していただきました。

その後、地域活性化について日頃思うこと、島本町の地域活性化の目標について意見交換を行い、全体で発表していただきました。

参加者は島本町への思いを熱く語っておられました。

【横のつながり】※6.9 1回目

【課題】

- ・各グループ、団体が、何をやっているのかわからない
- ・住民委員会でも地域活性化の話がでている
- ・イベント等、情報をまとめる人がいる。・リーダーシップをとる人が必要である
- ・横のつながり、商店(経済活動)、文化活動それぞれの立場がある
- ・町行政は、新しいことを試みる際のハードルが高い。補助金等の情報を早い目に欲しい。ボランティアセンターとにぎわい創造課の一元化
- ・外から来た若手事業者は横のつながりが無い。世代を超えた交流があまりない現状

【解決案】

- ・活性化交流会(本会)で横のつながりを構築する
- ・連携、情報交換の方法をきめる
- ・商工会、役場等が窓口機能を担う
- ・町として地域活性化の活動をまとめる
- ・交流会ではなく、早急にでも連絡協議会を発足する
- ・広い範囲の各活動をまとめる人間がいることで活性化していく
- ・いろんな立場の人が集まって意見を交流することが大事だと思う

【情報発信】※6.9 1回目

【課題】

- ・町外への情報発信。
- ・町内への情報発信。町外に勤務していると、町内の情報が入ってこない。新しいマンションでは、チラシお断りのところがある
- ・町の資源が新しい住民に伝わっていない
- ・商工会でも情報が隅々までいきわたらない。地域出店は、イベント会社から連絡がある
- ・イベント情報の発信不足、PR不足
(5000人もの観光客があったこと知らない人が多い)
- ・町広報はハードルが高い。

【解決案】

- ・どのようにかかわれたらいいか、いい情報が回っていけばいいと思います
- ・イベント等、町のホームページが発信源になる。観光にアップしていく
- ・アマゴ、マス等釣り情報を町内外にサンスポなど情報発信する

【観光】※6.9 1回目①

【現状】

- ・ふるさと案内ボランティア活動で島本町のすばらしい自然をアピールしたい

【課題】

- ・オートキャンプ場の検討をしてほしい
- ・町内の危険個所は、私有地だから、町有だからに関係なく早急に修繕してほしい
- ・町内に食べる場所が少ない
- ・食べる場所が必要(野菜の取れる時期に応じて多種多様なメニューが必要)
- ・水無瀬溪谷に、神戸・大阪・京都方面からきているが町内からの人は少ない
- ・歴史文化資料館の使用ハードルを低くしてほしい。セキュリティ問題で展示物が限られる
- ・JR周辺に喫茶店等休むところがほしい

【観光】※6.9 1回目②

【解決案】

- ・グルメマップを作り情報提供する
- ・広い道路が完成する予定である。
- ・アマゴなど釣り情報等活用し町外の客を多く取り込むべく、バーベキュー等人気あるものをビジネスチャンスにしたい
- ・水無瀬のゴルフ場→活用法を考える(府の河川課に相談)
- ・島本町に観光でお金を落とす仕組みを
- ・島本町と大山崎町と共に活性化を
- ・尺代の開発による動向、島本駅西側の開発変化に注視する
- ・大阪の軽井沢とかのキャッチフレーズ
- ・アマゴ物産活用(アマゴTシャツ作成)
- ・若山神社散策ルートに入れる

【交流・イベント開催】※6.9 1回目①

【現状】

- ・イルミネーションを5人でスタートした、15年で現在のイルミネーション実行委員会に成長した
- ・島本町農業振興団体協議会(朝市部会)が朝市を開催している、リタイヤ組の有機農業作物を、朝市で同時販売連携している
- ・『和』(なごみ)として町内外イベント(ジャズスト、高槻手作り市、消費者まつり、しまもと手作りコミュニティ市等)に数多く参加し活性化活動をしている

【課題】

- ・障がい者施設として、町の人たちと繋がりたい
- ・活動団体には高齢者が多い。現役で仕事をしている人が動くことで活性化ができる。リタイヤ組だけで話をしてもダメではなかろうか

【交流・イベント開催】※6.9 1回目②

【解決案】

- ・イルミネーション活動等介し、住民が顔見知りとなれるイベント活動にできれば
- ・手作り市に参加し活性化に寄与したいと思っています
- ・夏まつり、イルミネーション等に、子ども、子育て世代の活動参加者が増えれば、活性化するのではと考える
- ・消費者まつりなどのような、イベントを定期的実施することが大事である。楠正成など、楠公さんにまつわる歴史等を関連させた行事にしていく
- ・東京、名古屋、大阪市内では、マネのできないそれぞれの仕事を諸団体活動で頑張る
- ・諸活動、サークル活動等におけるアドバイザーがいればと思う

【商店街・空き店舗】※6.9 1回目

【現状】

・昔は、80事業所、現在は20事業所と会員数が減少している。昔は、年末福引などしていたが今はできない現状がある(街路灯、防犯灯の管理が主活動になってきた)

【課題】

・活性化には、横のつながりが大事であり、各商店の底上げが必要である
・子育て世代に何かをアピールするチャンスではと思う。地元のよいお店を紹介しきれていないのが原因ではないでしょうか。結果:町外の事業所大手ジャスコの巡回バスが運行し集客営業されている現状

【解決案】

・駅前空き店舗を活性化したい、活性化できれば町の活性化につながると考える
・100円商店街事業に島本らしさを取り込み、地域性をだせたら良い
例:向日市の激辛商店街

【地域資源・特産品】※6.9 1回目

【課題】

- ・外部の人と会う機会が多く、島本みやげとして何を持っていくか
何があればよいか、土産物がほしい
- ・プリン、ケーキ等製造している、
- ・しまもと竹の子の出荷量が多いが、知名度が低く、ブランド力が無い。ブランド力を高めていく必要がある

【解決案】

- ・グルメ子供からお年寄りまで楽しめる楠公さん680年に掛けて・680円の定食
680円のパン
680人で何かを作る、行う等
たけのこ祭り(桜井)
竹をカットして浮きとうろう
- ・スイーツ甲子園など全国イベント等でPRする

【その他】※6.9 1回目①

【島本町のビジョン】

- ・島本町として“こうありたいビジョン”を示してほしい
- ・町としての3年、5年後のアウトラインを示す

※第四次島本町総合計画(平成31年が目標の長期計画)

【町づくり】

- ・住みよい町ができれば人が流入する
- ・豊かな自然があり魅力的な町である
- ・町行政に要望:人口を増加させてほしい、水無瀬駅前ロータリー駐車場開発整備等
- ・町の昼間人口が少ない→町内雇用を増やす、地場に雇用をもってくる対策を
- ・島本駅前のよい利用方法、活用ができるのではないか
- ・町行政、交流会などにおいて、だされた意見、提案に対して返答が必要である
スムーズに進むのでは、リアクションがあることが大切だと思います

【島本町の魅力】

- ・高槻育ちであるが、島本居住してから島本の良さに魅かれている
島本の良さいいところを伸ばし活性化していきたい
- ・子どもができて、島本町の良さに気付き、島本町の資源がたくさんあることに気づいた、人とのつながりを大切にしたい

【その他】※6.9 1回目②

【子供】

- ・島本町は安全な町、子どもが増えてくれればと思う、安全を継続してほしい
- ・子供の育成にはとても良い環境がある

【住民】

- ・地域活性化は、町行政がするものではなく、住民と一緒にやっていきたい
- ・住みたい人が、住んで楽しいと思えるように活性化してほしい
- ・45歳の同級生がふるさとしまもとに戻ってきているとの声をよく聞く